

主な教育実績 (2018年3月現在)		
期 間	教育を行った機関	主な担当科目
2004年10月～2007年7月	名古屋大学留学生センター (現国際教育交流センター)	*異文化間コミュニケーション *学部基礎セミナー(「世界の教育」)
2012年10月～2016年3月	立命館アジア太平洋大学	*大学基礎学修スキル(異文化理解・多文化間グループワークなど) *留学前・留学中・留学後授業(異文化環境適応、異文化間コミュニケーション、異文化間ビジネスコミュニケーション等)

教育の実践例 (2018年3月現在)	
年 度	概 要
2004～2007年度 および 2012～ 2015年度	名古屋大学および立命館アジア太平洋大学(以下APU)にて、正規学生(国内・国際学生)や短期受入れ留学生を対象に多文化共修授業を実施。異文化間コミュニケーション、異文化理解等に関わる内容で、 <u>学生間の対話と気づきを引き出す指導</u> を行った。テーマに基づくディスカッション、体験型アクティビティとその振り返り、学生自身の体験談を活かした議論や考察等、 <u>学生主体の授業</u> を展開した。
2012～2015年度	APUで担当したAPU-SEUグローバル協働教育プログラム(以下GLUEプログラム)において、 <u>eポートフォリオを活かした留学指導</u> を実施。リフレクションジャーナルやフォトジャーナルの形式で、留学準備、留学体験理解、留学後の振り返り等、段階に応じて学生の継続的な学びとピア効果による学びを促した。
2013～2015年度	GLUEプログラムを通して来日したパートナー校(米国セント・エドワーズ大学、以下SEU)の引率教員とともに、当該教員の専門分野(コミュニケーション学や政治学等)を融合した <u>協働教育授業を企画・実施</u> 。APU学生とSEU学生が履修する同授業を両教員が共に教えることで、教員間、学生間、そして教員と学生間の学び合いを図った。
2014年度	GLUEプログラム参加学生を対象とした留学前後授業にて、 <u>Intercultural Development Inventory (IDI)</u> による異文化感受性の測定を行い、異文化や多様性の捉え方、他文化との接し方について、学生の自己理解および意識的な学びを促す指導をした。
2013～2015年度	GLUE担当教職員と協働で開発した「 <u>異文化間能力ルーブリック</u> 」を活用し、GLUEプログラム参加学生を対象とした各種授業にて、 <u>異文化体験を通じた学びや自己の変化を考察する指導</u> を行った。
2012～2015年度	APU初年次科目にて <u>プロジェクトベースの多言語多文化間グループワーク</u> を指導した。同科目の大講義では、学生のリフレクションペーパーやフィードバックの内容、具体的な事例を盛り込む工夫をした。